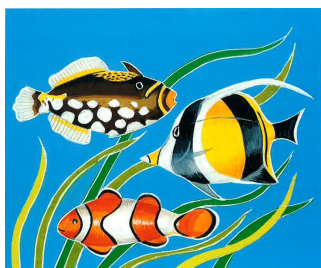


有限会社アズサ ケアサービス 小規模事業所での取り組みの必要性

会社概要

有限会社アズサケアサービスは、訪問介護、居宅介護支援等のサービスを行っている40名（非正規職員を含む）の企業です。当社では、非正規職員も正規職員と同等の待遇として、研修にも積極的に参加してもらい、質の向上を図っています。



取り組みのきっかけ・現状

小規模事業所の経営者の人材活用や人材育成に対する意識はまだ低いと指摘され、人材をどのように活かし、レベルアップさせていくか、その重要性を感じています。特に非常勤ヘルパーを単なる労力として捉えるのではなく、技術を持った専門職種として捉え、そのためには教育は欠かせないと考えています。

具体的な取り組みと活用ツール

今回、非正規のヘルパーを含め、当社の全従業員に、職業能力評価シートの訪問介護レベル2（別添参照）の記入を実施しました。

実施にあたっては、これはテストではなく、自分の弱点を知り、今後、是正しながらレベルアップを図ることを目的としている旨を記載した記入依頼書や感想を記入してもらうアンケートを添付しました。

取り組み結果

アンケートの内容をみると、予想に反して従業

員の反応は大変良く、前向きな意識を持つ従業員を得て、事業所として大変心強く思いました。自身の仕事に対する姿勢や技術等について振り返りができて良かったという声や、会社に対する育成への要望も数多くみられ、事業所として従業員に対する指導を考えていく上で、大いに参考となりました。

主な意見・感想は以下のとおりです（抜粋）

- ・シートをチェックすることにより、それぞれのサービス業務が出来ている、不十分、経験が無い等がよく分かりました。今後のレベル向上に活かせればと思います。（2級ヘルパー、非常勤）
- ・介護の仕事はチームプレーが大切であることをつくづく感じています。ご利用様を理解して情報を共有し協力したり、カバーしあったり、人間にしか出来ない仕事です。そんな仕事に携わるものとして、常にレベルアップを考えなければならないと思います。そのような意味から、今回の職業能力評価シートの記入は自分を振り返るよい機会になりました。これからも自分が少しずつでも向上できるようにがんばっていきたいと感じています。有難うございました。（介護職員基礎研修修了、常勤）
- ・普段あまり疑問に思わないでいることを、1つ1つ改めてチェックしていくことで、日々の仕事、利用者さんのことを丁寧に考え直すことが出来ました。自分の技術の未熟さと知識の浅さも再認識しました。自分で学んでいくことはもちろんですが、一人での仕事ですので、自分のしていることがどうなのかと確認できることが必要です。このようなアンケートや会社での勉強会（法改正の説明など）が定期的にあると助かります。（介護職員基礎研修修了、非常勤）
- ・今までの仕事を振り返り、この職業能力評価シートをチェックすることで、改めて自分自身に足りないものや、学ぶべき課題が分かりました。また今後の目標も見えてきたような気がします。（2級ヘルパー、非常勤）

・自分の介護の力がどのくらいなのか、いつも不安でしたが、今回、職業能力評価シートを初めてつけてみて、勉強不足を痛切に感じました。再確認しながら頑張ります。(2級ヘルパー、非常勤)

修の機会を確保し、目的や意義を伝える等運用方法を検討したうえで本ツールを活用することが有効であると考えられます。また、国や自治体には、多くの事業所に周知する方法を考えて、ヘルパーの質を高めていってもらえたらと思います。

今後の課題と方向性

小規模事業所が人材をどのように活かし、レベルアップさせるかという人材育成の観点から、研

平成 24 年 3 月

(別添)職業能力評価シート(通所介護 レベル2)イメージ

【 通所介護 】(選択能力ユニット)

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準		自己評価	上司評価	コメント			
1.初回サービスのための準備	利用者基本情報の把握	共通	12	新規利用者について、ミーティング、回覧、朝の申し送り等により、事前に利用者の身体状況や生活状況等を確認している。					
			13	サービスを実施する上で、不明な点や疑問点については、管理者や相談員等、しかるべき人に確認している。					
			14	医療ニーズを持つ利用者(導尿、カテーテル、在宅酸素等の処置が必要な利用者)の受け入れの際には、ケアを行う上での留意事項や報告事項等を確実に確認し、理解している。					
			15	利用者の手順書の内容について、正しく理解している。					
			16	サービス実施のための準備を適切に行っている(送迎日時のご案内等)。					
2.送迎	車両運行	共通	17	送迎を行う利用者、およびルートを確認している。					
			18	道路交通法に基づき、車両を安全に運行している。					
			19	道路交通法に基づき、車両を決められた駐車スペースに駐車している。					
			20	利用者の安全、安心、安楽を考慮して、車両を運行している。					
			21	利用者の送迎の際に、車両の乗降、歩行、移動、移乗、靴の履き替え等、必要に応じて、適切な介助を行っている。					
	添乗	共通	22	常に利用者の安全、安心、安楽に気を配りながら、添乗している。					
			23	送迎の際は、利用者や家族と、あいさつ等の基本的なコミュニケーションを適切に行っている。					
			24	朝のお迎えの際は、家族に、利用者の心身の状況、時間変更、持参物、服薬の状況等の確認を確実にしている。					
			25	帰りのお送りの際は、その日のデイサービスでの出来事や、利用者の様子等についての報告を確実にしている。					
			26	車中においては、利用者の楽しめるような話題づくりを行ったり、音楽を流す等、快適な移動時間を過ごせるよう、配慮している。					
3.通所介護サービスの実施	サービス実施のための事前準備	共通	27	朝、利用者をお迎えする前に、規程のルールに基づき、効率的に環境整備を適切に行っている。					
			28	感染症予防のため、サービス開始前(排せつ介助、外出後、調理前等)に手指の消毒をするなど、対応を行っている。					
			29	当日お迎えする利用者数(キャンセルの有無等)、および利用者情報を確認し、必要な情報は、ミーティングで共有化している。					
			L2	30	基礎的な実務知識、技能を応用し、利用者のニーズや状況の変化に対応してサービスを実施している。				
			L2-3	31	決められた内容のサービスを、限られた時間内で効果的に実施している。				
	通所介護サービス実施(入浴、食事、レクリエーション、機能訓練、その他排泄、水分補給等の必要な援助)	共通	L2	32	比較的难度が高い利用者(ex.コミュニケーションをとることが難しい利用者、軽度の認知症等)についても、状態に応じた適切な介護技術で介護を行っている。				
			L2-3	33	利用者のニーズや気持ち、身体状況の変化等に気を配り、見守り・声かけをおこない、どのような対応が必要かを考え、上位者に相談・提案できる。				
			L2-3	34	利用者の状態を常に観察・把握し、異変が発生した場合は、対応のルールに基づき、迅速・適確に対応している。				
			35	常に利用者の安全に気を配りながら、サービスを実施している。					
			36	利用者との適切なコミュニケーションをとりながら、サービスを実施している。					
		サービス実施後の後片づけ、および情報の共有化	共通	L2-3	37	利用者の自立を促す観点を踏まえ、適切な援助を行っている。			
				L2-3	38	利用者や利用者家族とのかかわり方の基本を理解し、良好な関係を築いている。			
				L2	39	利用者や利用者家族のニーズや思い等を適確に理解し、場の雰囲気合った配慮ある言動を示している。			
				40	利用者の帰宅後は、チームで協力して、片づけ、清掃、洗濯、翌日の準備等を行っている。				
				L1-2	41	当日のサービスの実施内容や利用者の状況等について、チーム内で振り返りを行っている。			
4.サービスの検証	サービスの振り返り、自己評価	共通	L1-2	42	担当するサービス手順と内容の実施結果について振り返り、問題点や改善点を把握し、適確に上司に報告している。				
			43	自分自身、ケアスタッフとしてうまくいったこと、いかなかったことの背景や原因を分析し、次の業務に生かしている。					
			44	ミーティングやカンファレンス、上司への報告・連絡・相談等の機会を利用して、提供したサービスの内容や、ケアのやり方について検証し、自身の介護サービスの質を高めようと努めている。					
	ケアのやり方等サービス向上に向けた提案			L3にて求められる項目					
5.利用者への情報提供	利用者に対する情報提供	共通	45	利用者や家族に対し、自社のサービスに関するパンフレット等により必要な情報提供を確実にしている。					
			46	利用者や家族に対して、地域社会資源の状況(フォーマルサービス、インフォーマルサービス等)についての、必要な情報提供を行っている。					
	介護に関する利用者からの相談に対する対応	共通	47	日頃から、利用者や家族との相談窓口として、気軽に相談しやすい雰囲気を作り、親身になって対応している。					
			48	答えられないことや、わからないことには、その旨を相談者に伝え、正確な情報を確認後伝えている。					
49	利用者からの相談内容は、管理者や相談員等に正確に報告をし、橋渡しを適確にしている。								
6.専門指導職としてのスタッフの指導・育成	ケアのスーパーバイズ、スキル指導			L3にて求められる項目					
	メンタルヘルス								

職業能力評価シートは厚生労働省のHP(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/syokunou/07.html>)より閲覧・ダウンロードができます。